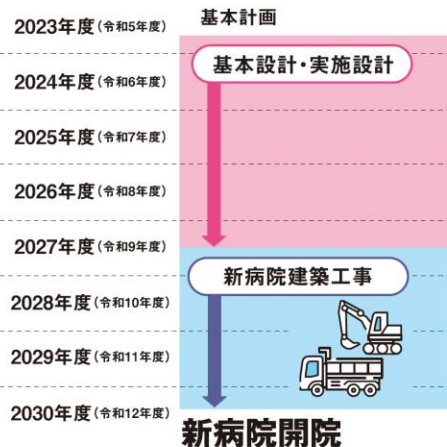


## スケジュール(予定)



## 県病院跡地の方向性



### ～安全な暮らし～

- 県病院の跡地の周辺において引き続き地域の方が安心して暮らし続けることができるよう、地域の医療機関との連携や高齢者等のアクセスを考慮した上で、必要な「医療」「介護」「福祉」サービスを受けることができる体制を整えます。
- 大規模災害に備えるため、防災体制の充実強化を検討します。

### ～活気あふれるまちづくり～

- 多様な世代が、いきいきと暮らし続けることができるよう、「賑わい」「健康づくり」「子育て」等の機能整備を検討します。

今後、方向性の具体化に向けて検討を行います。

## 課題1 医療機能

進歩し続ける最新の医療を提供できなくなるおそれがある

### STEP1

医療資源を集約・症例を集積し、新病院を整備

効果1



全国トップレベルの医療が受けられる

## 課題2 人材

県内の若手医師減少傾向の加速

### STEP2

症例の集積等、医療職にとって魅力的な環境を整備

効果2



医療人材の不足が解消される

## 課題3 地域医療体制

地域間・診療科間の医師偏在の拡大

### STEP3

地域医療に関心のある医療者を確保・育成

効果3



地域間・診療科間の医師偏在が解消される

# どう変わる？ 広島県の医療

## 安心して暮らし続けられる 広島県を実現

高度医療・人材育成拠点構想



©ZENRIN

どんな病院？

いつ開院？



## 広島県健康福祉局医療機能強化推進課

広島市中区基町10番52号 TEL:082-513-3086  
MAIL: fuiryoukinou@pref.hiroshima.lg.jp



高度医療・人材育成拠点



## どんな病院ができるの？ いつ開院するの？



全国トップレベルの高度医療を提供する機能や、医療人材を育成・循環する機能を有する「高度医療・人材育成拠点」として、県立広島病院・県立二葉の里病院・中電病院・HIP RACが一体となり、広島市東区二葉の里に、1,000床規模の新病院の設備を予定しています。

また、新病院の整備に係る取組を着実に進めていくにあたり、新病院の運営主体となる「地方独立行政法人広島県立病院機構」を2025年4月に設立し、県立広島病院、県立二葉の里病院及び県立安芸津病院の一体的な運営を行っています。

### 理念

県民の皆様信頼される基幹病院として、全国トップレベルの高水準かつ安全な医療を提供するとともに、医療人材を育成し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる広島県の実現に貢献します。



広島駅

©ZENRIN

### 病床数

**1,000床規模**

※病床数・診療科構成は今後の医療需要の変化などにより、変更する可能性があります。

### 診療科数

**41科**

### 建設予定地

広島県広島市東区二葉の里3丁目

**2030年度に開院予定**

## こどもの医療を 充実させてほしい！



こどものからだところの健康を守る医療に力を入れます。365日体制でこどもの救急医療に対応する中国地方初のER併設型の小児救命救急センターやこども専用の集中治療室(PICU)を整備します。また、ひきこもり、虐待、発達障害など、こどものこころの問題に対応する児童・思春期病床も整備します。いわゆる「こども病院」として、小児のあらゆる疾患に対応します。

## 救急医療は どうなるの？



今後、救急搬送が増える見込みであり、救急車を受け入れる医療機関には、より負担がかかると想定されます。新病院では、医療設備やマンパワーの集約により、多くの救急車を受け入れる体制を構築し、他の医療機関をバックアップすることで、地域全体で「断らない救急」を目指します。

## 地震・豪雨などの災害が 発生しても大丈夫？



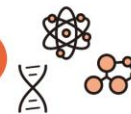
新病院は、南海トラフ地震を想定した免振構造、豪雨災害を想定した階構成等、災害時においても診療が継続できる施設としています。また、県立広島病院が担っている基幹災害拠点病院の役割を引き継いで、傷病者の受け入れやDMATの派遣、人材育成などにより、医療体制を確保し、災害にも強い医療機関を目指します。

## コロナとか感染症への 備えは大丈夫？



新型コロナウイルスのパンデミックでは、病床の確保が大きな課題となりました。新病院では、新たな感染症の流行に備えて、専用病床の確保や必要な資機材の整備、専門人材の育成など、機動的に対応できる体制を整えます。

## もし、がんになったら…



がん医療センターにおいて、がんゲノム医療・手術・放射線・薬物・免疫療法等を組み合わせた、オーダーメイド型の治療を提供します。また、診療データ等を活用し、新たながん治療法を開発するための高度な臨床研究や治験を実施します。

## 医師不足は 解消されるの？



地域の医療機関等と連携し、症例集積する新病院での高度医療をはじめ、様々な経験を通じて、実力ある若手医師の育成につながる研修プログラムを整備します。また、ワーク・ライフ・バランスの充実や、研修医等の交流を促すラウンジなど、働きやすい職場環境を整備し、若手医師から選ばれる病院を目指します。

## なぜ広島駅の 北口なの？



がん医療、周産期医療、災害医療など様々な拠点的役割を担う県の基幹病院として県全域からの交通の利便性が高い立地が望ましく、また、防災上の視点からも、南海トラフ地震発生時に浸水のおそれのない広島駅の北口(二葉の里地区)は新病院の整備場所として適していると考えます。